

第5回目の愛車コーナーは「仏の清水」との異名(?)を持つ、清水先生にお話を伺いました！

教職員 & 愛車紹介

VOL. 5



「高校生の時の夢はお笑い芸人や宮大工、体育教師でした。ですが、そのことに対して親はいずれも猛反対（笑）。なので、高校卒業後は、姉が働いていた日産の販売店で整備士として働くことにしたんです。最初は自動車の事が何も分からず、見ず知らずの人の命を預かっていると思うとプレッシャーですごくつらかった。転機は、自分の車のエンジンを修理した時でした。掛からなかったエンジンがブルーンって回った時の感動はたまりませんでした。そんなこともあって、次第に面白みが分かってきました。その後は、知り合いからの誘いもあり、モータースポーツに参加するために、他社ディーラーにいきました。先生になったのは、その後です。」と、まずは簡単な自己紹介をしていただきました。

次に、モータースポーツのことについてお話を伺いました。

「ダートトライアル(ダートラ)やラリーをやっていました。先生になった今も、ラリーにはコドライバーとして参戦しています！こうした競技のおかげで友人がたくさんできました！（笑）」と、話していただいた際の楽しそうな表情から、モータースポーツが大好きであるということが伝わってきました。

そんな清水先生、実はWRC(世界ラリー選手権)にメカニックとして参加したことがあるといひます。それについて、ここでは書ききれないほどの貴重なお話をしていただきました。そのお話はどこかで機会があればお届けしようと思います！

ここからは愛車についてのお話です！かつての愛車も振り返っていただきました。

「競技に打ち込んでいたころは『トヨタスターレット (EP71型)』や『日産マーチ (K10型)』などに乗っていました。スターレットの方は『韋駄天』と呼ばれていたターボモデルで、マーチの方はターボとスーパーチャージャーが両方搭載されている『マーチR』。どちらも速かったですね。自分の運転で入賞したときは、『俺って天才！』って思ったよ（笑）。コドラに転向した今は、『日産ノート (E13型)』に乗っています。プロパイロットなどの新技術に魅力を感じたのでこれにしました。この車でコースの下見をして、ペースノートを作っています（笑）」と、かつてはお笑い芸人を目指していたという先生らしいボケをはさみながら、愛車のお話をしていただきました。



今回は以上です！ぜひ次回もお楽しみください！